

原三溪翁伝



藤本實也 著

A5判・936頁・定価16,800円(税5%込)

ISBN978-4-7842-1476-1

原三溪(1868-1939)は、生糸貿易や製糸業で活躍した横浜の事業家。美術・茶道に造詣が深い文化人・パトロンであり、広大な私邸を三溪園として一般公開し、関東大震災後の横浜の復興に尽くすなど、社会事業家としても活動した。藤本實也が戦時中にまとめ、稿本のままで活字化されていなかった幻の原稿『原三溪翁伝』を、横浜開港150周年を記念して、校訂を加えて刊行。

◆◆内容目次◆◆

第1篇 事業と生涯

- 第1章 総叙
三溪と横浜／生地濃飛の大観
- 第2章 家系
家祖世系／外祖父高橋杏村／先考先妣
- 第3章 生立
幼時の面影／碩学野村藤陰の感化
- 第4章 立志遊学
郷国脱出／早稲田学園／苦学と大志
- 第5章 横浜原家に入る
原家／生糸貿易界の巨擘原善三郎／家業見習
- 第6章 原合名会社を組織
旧習刷新／人材招致／会社の機構
- 第7章 原輸出部創立
生糸絹物輸出／露国貿易開始／輸出部の陣容
- 第8章 製糸業の兼営
渡瀬製糸所／富岡製糸所／大崎製糸所／名古屋製糸所／子安製糸研究所(自動製糸機の発明)
- 第9章 蚕糸業外の関係事業
第二銀行／日本夏帽株式会社／日本リンネット株式会社／朝鮮農林株式会社／南和護謨株式会社／真崎大和鉛筆株式会社／横浜倉蜜研究所(上)(空中窒素)／同(下)(人造絹糸)／関係事業の種々相
- 第10章 家庭
屋寿子夫人／嫡子善一郎／次子良三郎／二女婿／羨まるゝ円満家庭

第11章 終焉

第2篇 公共貢献

- 第1章 蚕糸業界に於ける功績
営利を離れての蚕糸業の指導／第一次帝国蚕糸株式会社／第二次帝国蚕糸株式会社
- 第2章 七十四銀行の破綻と救済
横浜に於ける銀行の興敗／欧州大戦後の恐慌と七十四銀行の破綻／横浜興信銀行と其の使命
- 第3章 関東大震災後の復興
横浜貿易復興会／横浜市復興会／二港主義の対戦
- 第4章 公共事業の援助及復興整理関係
恩賜財団済生会／財団法人協調会／財団法人神奈川県医済会／財団法人神奈川県社会事業協会／財団法人神奈川県乳児保護協会／出獄人保護会／共益不動産株式会社／横浜復興信用組合／横浜衛生組合聯合会／日本輸出絹物同業組合聯合会／絹業協会
- 第5章 横浜大御所
植民地観を呈せる最初の横浜／政争渦中の

横浜市政／大横浜建設の理想／愛市の一念／横浜の元締格

第6章 三溪園

三溪園の修築／三溪園の公開／不朽の豪華桃山殿／三溪園の社会的貢献／三溪園の国際的価値

第7章 日本美術の振興

古美術の研究／美術資料の集成／新進画家の誘掖後援

第3篇 性格と趣味

第1章 性格

孝悌／正義と公明／悠揚典雅／博愛公心／聡明叡智／清廉潔白／福徳円満／自重と自信／果敢と沈勇／名利に恬澹／人材主義と人物評／友誼と温情主義

第2章 趣味

古美術品の愛翫と蒐集／庭園／建築／絵画／書道／史観と文学(文章)／漢詩／和歌／茶道／劇と歌謡／食通／煙霞癖

年譜／解題／人名索引

解題
藤本實也と原富太郎
途上国日本と横浜生糸売込商
安田敦彦の聖徳太子像 — 原三溪旧蔵《夢殿》再考 —
原三溪の展評 — 院展図録の記述から —
下村観山と原三溪にみる作家と支援者の関係
内海 孝
根岸秀行
柏木智雄
八柳サエ
清水 緑

藤本 實也 (ふじもと じつや) …… 1875 (明治8) ~ 1970 (昭和45) : 農学博士。関東大震災後、横浜生糸検査所技師を辞職し、生糸貿易研究のため著作に打ち込む。【主著】『富岡製糸所史』(1943)『支那蚕糸業研究』(1943)『開港と生糸貿易』(1939)『日本蚕糸業史』(1935)『鮮満及北支那之産業』(1926)

思文閣出版

〒606-8203 京都市左京区田中開田町2-7 tel.075-751-1781 fax.075-752-0723
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行: 思文閣出版		(京都 取引コード 3402)	
冊数	冊	原三溪翁伝	定価16,800円(税5%込)	ISBN978-4-7842-1476-1	
お名前		tel			
		e-mail			
ご住所	〒				
送本方法	<input type="checkbox"/> 書店経由 (このちらしを書店にお渡し下さい) <input type="checkbox"/> 代引 (書籍代+送料を現品と引き替えにお支払い下さい)		書店番線印		